



さの  
**佐野** あつし  
**孜** 議員  
(富岳会)

**富士宮市の原点を生み出す資源について**

**問** ①朝霧高原の牧歌的風景の維持と牧場の継承を取り上げたドキュメンタリー番組が放送されたが、畜産の振興に対する支援などについて。②朝霧地区の畜産ふん尿等の課題解決について。

**部長** ①畜産振興推進協議会を設立し畜舎消毒事業や予防注射事業などを実施。また、畜産競争力強化対策整備事業も推進している。②農林漁業の健全な発展調和のとれた再生可能なエネルギーの促進に関する法律によりバイオマス発電プラントの基本計画を認定し、朝霧地区の家畜糞尿等の課題解決に取り組む。

**世界遺産の構成資産の整備計画について**

**問** ①白糸の滝売店集約計画、周辺整備計画。②関連して天子ヶ岳麓の土地所有者の折衝状況。

**部長** ①8店舗が対象で第1期は5店舗が来年4

月に開業予定。第2期は令和3年3月までに移転の意思決定をしていただきたく話し合い中。白糸の滝西側の整備は土地所有者との話し合いは継続中。②天子ヶ岳麓の佐折地区の開発は、都市計画法の改正により市街化調整区域内の大規模開発は禁止されている。宗教法人からの相談は特に受けていない。

**学校教育環境の整備に対する取り組み**

**問** ①各教室への空調設備整備計画について。②富士宮教育委員会で推進する「富士山学習」今後の推進計画について。

**部長** ①富士宮第一中学校等17校については来年3月13日までには完成予定。上井出小学校等17校についても年度内には完成予定で、全校に空調設備が完成する。

**教育長** ②これまでの方向性を維持しつつ、創造的発展的に推進する。また、市民文化会館にて、来年の2月1日にステージ発表、2日と3日には、展示発表を実施予定。児童生徒の生き方決定の機会にしたい。



わかばやし しづこ  
**若林 志津子** 議員  
(日本共産党議員団)

**福島原発事故後8年経過したが、原発に対する見解と安定ヨウ素剤備蓄を全市民対象に**

**問** 避難生活をしている人は約4万人、ふるさとに戻れない人は約11万人と言われている。原発に対する市長の見解と安定ヨウ素剤の備蓄内容と全市民対象とすることを要望。

**市長** 私は原発に反対。事故が発生した場合、取り返しのつかない被害が発生することを恐れている。この地球をきれいで人類が暮らしやすい地球として持続していく使命がある。

**部長** 安定ヨウ素剤は、本庁と5カ所の出張所に丸剤9万丸とゼリー剤4000包を備蓄。マニュアルは策定済み。備蓄をした中で余力がある以上、希望される方には配っていきたい。

**浜岡原子力発電所で事故が発生した場合の避難対策には大いなる矛盾がある**

**問** 当市は吉田町の約1万人を受け入れるが、当市の避難計画は考えていくのか。

**部長** 吉田町から7月に訪問したいと連絡があり、今後、具体的な話し合いが進むと考えている。吉田町民が避難すると同時に富士宮市民は屋内退避で対応していく。

**要望** 吉田町から何台の乗用車、バスが来るのか。置き場はどうするのか、屋内退避しても放射能は消えない、いつまで屋内退避ができるのかなど大いなる矛盾がある。やはり原発をなくすしかない。

**幼児教育・保育の無償化で新たな負担増とらないように**

**問** 無償化に伴い副食費、行事費などは実費負担となる。新たに負担増となる家庭はないのか。

**部長** 現在、保育料が無料の世帯は副食費が免除される。免除の範囲が年収360万円未満の世帯まで拡大される。保育所との公平性の観点から、幼稚園でも年収360万円未満の世帯の子や第3子以降の子まで無償化される。